

産業オープンネットワークの  
これからを考えよう

# フィールド通信技術 ユーザセミナー2020 @早稲田大学



工場・プラントで稼働する現場機器のデータ・情報を簡単に、効率的に、そして安定して通信するために、オープンネットワーク技術は発展してきました。その中で、フィールドコムグループは主にプロセス産業において、またIO-Linkは主にディスクリート産業に向けた通信技術を、FDTグループは現場機器やネットワークをシステムに統合する技術を提供しています。IoT、Industry 4.0に対応する制御システムは現場のネットワーク技術を抜きにして、考えることはできません。

今回、3団体の最新技術セミナーとデモ展示により、プロセス、ディスクリート双方の明日の産業ネットワークの形をイメージいただければと思います。皆様のご来場を心からお待ちします。

2020年3月13日(金)

※終了後懇親会  
開催予定

10:00~16:45 (予定)

早稲田大学 西早稲田キャンパス

東京都新宿区大久保3-4-1

セミナー会場

55号館N棟 1階 大会議室

デモ展示

55号館N棟 1階 第1・第2会議室

定員：100名

参加費：無料

## ■アクセス

JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線 高田馬場駅下車徒歩15分

東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 出口3すぐ

<https://www.waseda.jp/fsci/access/>



お申し込みは <https://www.kokuchpro.com/event/waseda2020/>

からフィールド通信技術ユーザセミナーの「申し込み」をクリック！！

(2020年1月上旬から受付開始予定)

あるいは各共催団体のHPからもリンクしています。

<http://www.fieldcommgroup.org>

<http://io-link.jp/seminar.html>

<http://www.fdt-seminar.jp/>



参加費  
無料

主催：産業用オープンネットワーク・ラボラトリ (<http://www.amano.mech.waseda.ac.jp/hp/research/ion/>)

共催：早稲田大学理工学術院総合研究所

NPO法人 日本フィールドコムグループ (Mail: [fcc-j@fujielectric.com](mailto:fcc-j@fujielectric.com))

IO-Linkコミュニティ ジャパン (Mail: [info@io-link.jp](mailto:info@io-link.jp))

FDTグループ日本支部 (Mail: <http://fdtgroup.jp/pages/contact/contact.php>)

※お問い合わせは  
左記各共催団体まで

## ■プログラム概要（予定）日本フィールドコムグループ

### 講演「現場で作る/使う/改善するIoT」

- 講師 アンビエントデータ株式会社代表取締役／東京大学生産技術研究所 研究員 下島健彦様
- 内容 現在のIoTブームの発端である組み込み機器を利用した実践的な利用事例と実現方法を紹介し、この講演を聞けば明日からIoTを開始できますので、まずは手近なところから最初の一步を踏み出してみましょ。また、講演に連動し会場でもHART機器の情報を可視化するクラウドサービス“Ambient”に送信するデモンストレーションをおこないます。IoTの実施で悩まれている方は目から鱗がおちるかもしれません。さらに、演者がサポートして実現した、具体的でわかりやすい利用事例紹介は聞き逃せません。

### デモ展示

- 各社の最新フィールド機器や関連機材を取りそろえさまざまなシステムにつなげて動かしながら体験できる展示を考えております。
  - FDIシステムを利用したデバイス紹介
  - 各社のHARTデバイスの情報をAmbientサイトに送信し可視化する様子をその場で実演します。
- 話題のAPLの試作機を展示する予定です。  
APL: Advanced Physical Layer

## ■プログラム概要（予定）IO-Linkコミュニティ ジャパン

### 講演「IO-Link仕様概要」

- 講師 IO-Linkコミュニティ ジャパン リーダ 元吉伸一様
- 内容 IO-Linkの基本仕様とそのメリット、及び新しく発行されたIO-Link Safetyと2020年に発行予定のV1.13の仕様を説明します。特に、エンジニアリング不要の簡単接続、安全のコンセプトについて解説します。

### デモ展示

- IO-Link機器を使用したシステムを構築するときの留意点、特に、機器の選定、接続、コントローラからの見え方、FDTを使ったパラメータ設定を実際に動作するデモンストレーションを交えて説明します。

## ■プログラム概要（予定）FDTグループ日本支部

### 講演「ユーザ視点でのFDT技術に対する期待」

- 講師 三菱ケミカルエンジニアリング株式会社 四日市事業所 エンジ1部電計システムグループ 石川努様
- 内容 IoTやデジタルトランスフォーメーションというキーワードが定着した昨今、弊社でもHARTやFFといったデジタル通信技術の活用を更に深化させたいと考えています。デジタル通信技術活用のコアとなる技術の一つであるFDT技術に対する期待をユーザ視点で述べさせていただきます。

### デモ展示

- オートメーション分野におけるIoTの広がりの中で、例えばライフサイクル全般でのデータの有効な活用を考える場合、制御等定常作業以外の「エンジニアリング・保全」における機器データの活用が重要となっています。FDT技術の活用により、FAやPA等の異なるシステムでのアセット管理を、標準的な手法で統合することが可能となります。今回は、FAやPA等の異なるシステムでのFDT技術の活用に関してデモンストレーションを交えて紹介いたします。

※上記に加えて、3団体の最新技術に関する講演もありますので奮って参加ください